"令和2年2月 発行(通算34号)

## 帯北を拓く

带広北高等学校長 奥野 淳一

新年明けの雪の少なさに驚きを感じながらも、2月中旬の大雪に閉口。北国に住む我々にとっては春の訪れが一日でも早くやって来てくれることを望むばかりです。早くも1年が過ぎました。この間、保護者の皆さんをはじめPTA役員・同窓会員・評議員・理事会の皆様には絶大なるご支援・ご協力・ご指導を賜り感謝申し上げます。私も校長として2年目を迎え、一昨年皆様からお寄せいただいた学校評価アンケートを読み返しながら、まだまだ理想像とはかけ離れていつつも、生徒たちの学習環境の整備を含め、学校改善に努力してきたつもりです。その陰で、生徒のめざましい活躍が輝いていた年であったことは間違いありません。今後も私学としての在り方を基本に、魅力ある学校づくりのため、着実に前進させるつもりです。昨年末に学校評価アンケートを実施し、生徒・保護者から見た北高、そして教員という立場から見た北高の姿を評価していただきました。今後の方向性を確かめるためにも、是非参考資料にしていきたいと考えます。アンケートにご協力いただきました皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。

- 1、明るい学校生活(綱領に示された本校の指針・目標を意識しつつ楽しく学校生活ができているか?) 昨年同様、生徒・保護者の90%近くは肯定的で楽しく学校生活が送られていると評価してくれています。特に生徒は昨年より高い評価(88%)をして示してくれていることを、嬉しく思います。教員も約80%以上が学校生活を楽しく送られていることを感じてくれています。学校が明るく楽しい場所であることが何よりの基本であり、そのことが通じ合える学校づくり・北高の在り方をさらに深めて努力していかなければならないと思います。
- 2、きめ細やかで手厚い指導(個を大切に、人間的ふれあいの中で教育活動が行われているか?) 生徒・保護者・教員そろって約80%が本校の教育活動での意図が良い方向で肯定的に受け止めていることが読み取れます。しかし、教員の5%近くにはそう感じられぬ思いがあることもわかります。教育者として自信を持ち、人間的ふれあいを積極的に仕掛けていくことこそが大切であり、欠けていることを自ら反省し、生徒との関わりを深めてほしいと思います。個を大切にした学校でありたいと常に語りかけ、浸透させていくことを考えていきたいと思います。
- 3、学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業(わかりやすく・ていねいな指導が基本となった授業が展開されているか?) 魅力ある授業から生徒の意欲が増し、学力が身になるものと考えます。それは、教える側の教員が一番大切にしなければなりません。生徒や保護者の 20%~30%近くが、まだまだ不満があるようですし、何と言っても教員の 10%が自信を持った授業展開がなされていないことにがっかりさせられます。自分の授業には自信を持ちつつも、全体に対する厳しい評価なのかもしれませんが、個々の研修を深めて教育力を高め、生徒が意欲を生み出せる魅力ある授業の在り方を求めていかなければならないと思います。このことは大きな教員の反省点と考えます。
- 4、挨拶・身だしなみ・言葉遣いの指導(基本的習慣の確立に向けた取り組みが出来ているかどうか?) 生徒指導・生活指導は愛情のこもった指導でなければなりませんし、生徒との信頼関係の上に初めて成り立つもので す。ただ厳しさだけを求めるだけでは、継続しないその場だけのものになりかねません。家庭生活での在り方に大き く影響するものであり、保護者とのタイアップがとても大切なものであることは間違いありません。それほど低い評 価ではありませんが、昨年同様、生徒や保護者が感じている生徒の姿と、直接指導に関わっている教員が見る生徒の 姿に差異があるようです。保護者と協力した中で、更なる基本的習慣の育成に努めていきたいものと考えます。

5. 学校からの情報発信(学校と保護者の連携をめざし情報発信がされているかどうか?)

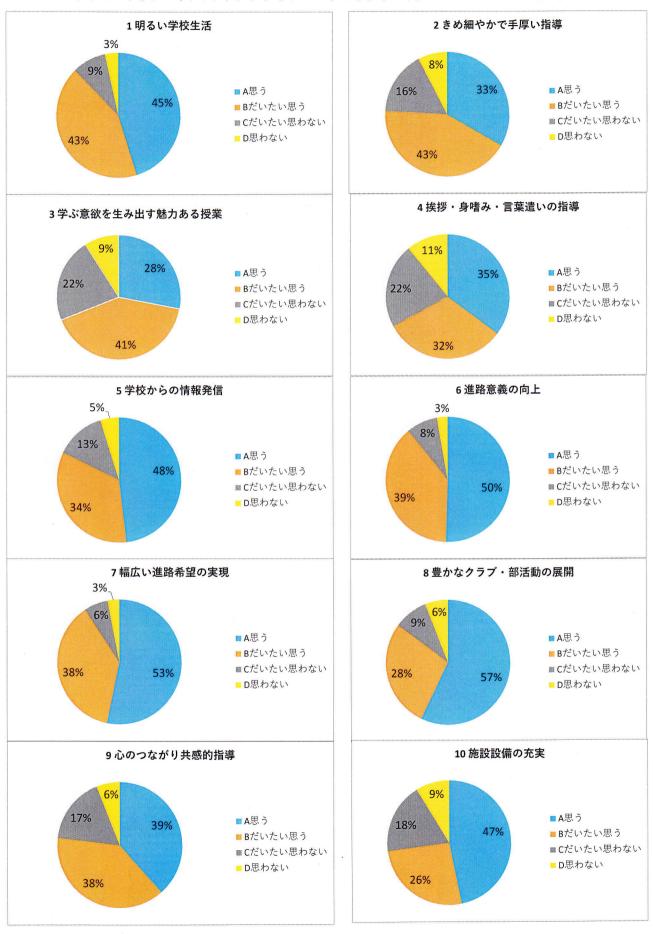
生徒と教員は同程度の高い評価を得ていますが、反して保護者からの評価がわずかに低く、これまでも指摘しているように、学校からの発信が生徒を媒体として保護者に伝わっていない傾向が読み取れます。現在その弱点を回復するために、学校のホームページの改善、さらにはクラッシーを利用して紙媒体のほかに IT を利用した情報発信をするため、新年度早々にでも開始可能に出来るよう準備を進めているところです。スマートホンや PC でも学校からの情報が保護者に直接伝わるよう発信し、連携強化を図る方向を考えています。緊急連絡等については、すでに運用が開始されているため、積極的な保護者の協力を望むところでもあります。

6、進路意義の向上(進路意識の高揚をめざすキャリア教育についてどうか?)

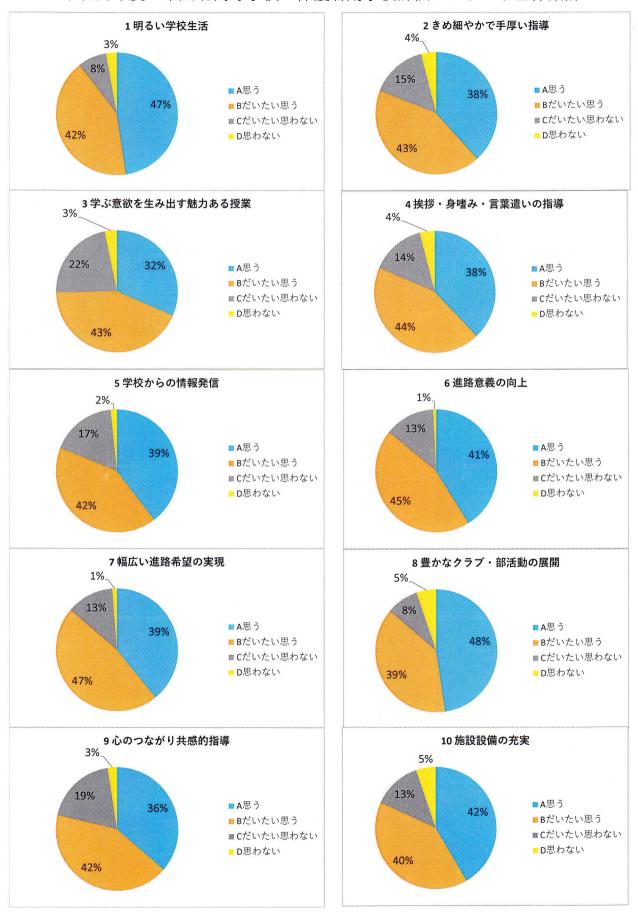
高校教育の中でも極めて関心が高く求められるところであり、教員の努力を直接受けとめる生徒は同程度高い評価がされています (約83%~89%)。また、保護者の反応も86%と好感度であり、この差は、学校で行われているキャリア教育に関心と興味をお寄せいただき、家庭での生徒とのコミュニケーションがもっと深くなれば解消できる課題と理解したいところです。さらに、進路については、教員と保護者の情報共有を密にすることが大切と考え、気軽に相談できる学校・教員を育成するための努力も必要と考えます。

- 7、幅広い進路希望の実現(進学講習・資格習得・模試等による計画的進路指導がされているかどうか?) 教員・生徒ともに 90%の者には理解され、多くの場面を現実視していることが読み取れます。個に応じた進路選択に は、教員サイドからの情報・資料が提供され、それを活用して生徒は実現に向け努力されているものと考えます。保 護者側からみると、生徒の意向と保護者の意向のくいちがいが問題視されているのではないかと思われます。
- 8、豊かなクラブ・部活動の展開(個の持ち味を生かし、自主性・主体性を重んじた指導はどうか?) 昨年同様、生徒・保護者・教員ともに活動の展開を高く評価してくれています。しかし 9%~14%前後の人たちは特化し 過ぎていないかとの評価があるようです。私学である本校においては、継続してこのことを大切にし、生徒にとって 魅力あるものにしなければならないのも現実です。多方面での生徒の活躍は学校生活の原動力として働いていること を見ると、大切にしなければならないと考えます。ぜひ保護者の方々にも理解され、ご支援していただけるようお願 いしたいと思い、体制づくりのための努力をしていきたいと考えます。
- 9、心のつながり共感的指導(共感的指導で基本的生活習慣・自主性・自立性を育成しているかどうか?) 心のつながりを感じ高く評価してくれたのは、生徒・教員・保護者の順であります。どんなことを進めるにあたっても、教員は一度生徒と同じ目線で物事を考え、そのことを保護者の思いと共有した中で育てる基本姿勢を持たなければなりません。高校生という年齢から、自主性・自立性が求められて当たり前のことであり、周りで関わりの持てるすべての人々がそのことを意識し、個々の成長を援助していきたいものと考えます。
- 10、施設整備の充実(教育環境施設整備が進んでいるかどうか?) 昨年の評価より、数的には高い評価を得ることが出来ました。トイレの改築、校門の改修、網戸の設置、そして全ク ラスへの電子黒板の導入、PC の LAN 改善、教室の LED 化、サッカーグランドの全面人工芝化、テニスコートの新設、 バスの更新等々…、理事会や教員の理解を得て変化していることを、実感していただいているものと考えます。しか し、まだまだ課題が多くあります。財政面を考慮しつつ、緊急性のあるものから計画的に充実させていきたいと考え ます。
- ★★★ 新学習指導要領により、高校教育に対し、より密度の高い内容が求められています。公立高校においても同様ですが、「私学として何が必要で何を求められているのか」に焦点を絞り、時代に対応できる教育現場でありたいと常に願っています。国の大学入試制度の改革も昨年末に突然変更になり、現場での戸惑いも感じます。一人ひとりの生徒を成長させるため、保護者の理解・協力・支援が不可欠でありますので、ぜひ、よろしくお願いします。

## 令和元年度 帯広北高等学校 生徒用学校評価アンケート全体集計



## 令和元年度 帯広北高等学校 保護者用学校評価アンケート全体集計



## 令和元年度 帯広北高等学校 教職員用学校評価アンケート全体集計

